

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃげきだんはいしょう 株式会社劇団俳小		
代表者職・氏名	代表取締役 斎藤 真		
制作団体所在地	〒170-0013		
	東京都豊島区東池袋2-7-3 東都大塚コーポB1(JR山手線大塚駅 徒歩8分)		
電話番号	03-3987-1787	FAX番号	03-3987-5187
ふりがな 公演団体名	げきだんはいしょう 劇団俳小		
代表者職・氏名	代表 斎藤 真		
公演団体所在地	〒170-0013		
	東京都豊島区東池袋2-7-3 東都大塚コーポB1(JR山手線大塚駅 徒歩8分)		
制作団体 設立年月	1974年1月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 斎藤 真 専務取締役 勝山 了介 常務取締役 大川原 直太 監査役 麻生会計事務所	(1) 団体構成員 個人42名(劇団員23名、研究生19名) (2) 主な構成員 俳優 斎藤真、勝山了介、大川原直太 (3) 加入条件 劇団俳小入団試験後、選定	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	大川原 直太
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	西本 さおり

制作団体沿革	昭和46年、早野寿郎・小沢昭一等が中心となって活動していた劇団俳優小劇場が解散し、演出家・早野寿郎が主催者となり、昭和49年、劇団俳小を創立。ヨーロッパ・アメリカ演劇から、日本の古典、新作、あるいは詩や小説をそのまま舞台に載せる等、一定の演劇理念にとらわれない幅広い演劇活動を続けながら、舞台芸術の原点を探る演劇創造集団として再出発した。 昭和51年『あの人を帰ってこなかった』で文化庁・芸術祭優秀賞。平成6年には、ジェームス三木作・演出による『上杉鷹山』が、地方行政(米沢市)との協力による公演形式で全国的话题となる。他、『橋からの眺め』、『五稜郭』、『どさ回りのハムレット』、『悲喜劇～自殺者』、『金閣炎上』などで、池袋演劇祭大賞をはじめとする各賞を受賞。『袴垂れはどこだ』で第25回読売演劇大賞・杉村春子賞(シライケイタ演出)を受賞。自主公演、小中高を中心とした学校公演、アメリカ、ヨーロッパ、ロシアなどでの海外公演など、幅広く精力的に活動している。			
学校等における公演実績	1.「わが町」(200ステージ以上) 各地の高等学校芸術鑑賞教室 2.「カチカチ山」(500ステージ以上) 都立一ツ橋高校、私立豊島実業高校、私立桐朋女子高校等、各地の高等学校、中学校芸術鑑賞教室 3. 文化庁舞台芸術ふれあい教室～本物の舞台芸術体験事業 「椎の木の間」(200ステージ以上) 各地の小中学校他、県立若狭高校、県立米沢商業高校等、各地の高等学校、中学校芸術鑑賞教室 4.「どさ回りのハムレット」(60ステージ) 石川県高等学校文化連盟他、各地の高等学校芸術鑑賞教室 5.「ら抜き」(60ステージ) 石川県高等学校文化連盟他、各地の高等学校芸術鑑賞教室 6.文化庁次代を担う子どもの文化芸術体験事業～文化芸術による子供育成総合事業 「トキワ荘の夏」(140ステージ以上) 各地の小中学校他、石川県高等学校文化連盟、私立桐蔭学園等、各地の高等学校、中学校芸術鑑賞教室			
特別支援学校における公演実績	文化芸術による子供育成総合事業等で、特別支援学級の生徒さんにも一緒に観て頂いています。その時は先生方と良く話し合い、舞台設営においては通路の配線や道具の設置位置及び照明の明るさや音響の調整等にも細心の注意を払いました。また、聴覚障害のある生徒には、パソコンを用意して頂いたり、視覚障害のある生徒にはイヤホンの用意もして頂いたり、身体不自由な生徒には車椅子と付き添いの方の席を設けて頂いたり、先生方には特別な配慮をして頂きました。			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
	PW:			

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団俳小 】

対象	☐	小学生(低学年)	☐	中学生		
	☐	小学生(中学年)				
	☐	小学生(高学年)				
企画名	「演劇の力」で子供達に夢を！					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	作・演出／竹内 一郎 トキワ荘の夏 公演時間(100分、休憩有り)					
著作権		制作団体が所有	☐	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	第二次世界大戦直後に、手塚治虫という天才が出現し、その後も日本漫画界をけん引し、その発展に大きく寄与しています。手塚は、昭和30年前後、「トキワ荘」というアパートに住んでいました。そこに漫画家を夢見る若者が日本中から集まってきました。藤子・F・不二雄、藤子不二雄A、寺田ヒロオ、赤塚不二夫、水野英子、石ノ森章太郎……。漫画創世記の天才たちの、梁山泊のようなアパートになっていました。本作品は、「トキワ荘」を舞台に、漫画家、編集者、小説家など、新しい文化創造に挑む若者たちの群像劇です。夢があり、悩みがあり、友情があり、挫折がある漫画家達の人間ドラマを通じて、何故、マンガという新しい文化が芽生え、発展していったか、良く理解出来、児童、生徒達に深い感動を与えます。 作・演出を担当したのは、竹内一郎。著書『手塚治虫＝ストーリーマンガの起源』で、サントリー学芸賞(文学・芸術)を受賞し、マンガ文化に造詣の深い演劇人です。又、本作品はトキワ荘が実在した豊島区の「区制施行80周年記念公演」に選ばれ、大好評を得た作品です。 この事業での公演(平成24年度～令和元年度)では生徒達、先生方、保護者の方々に大変評判が良かったのですが、今回は昨年と同様、戯曲の1部(編集長のモノローグのシーン)が、若干長く重い感じがするので、より分かりやすく手直しし、児童、生徒の理解を今までより深めたいと思っています。また、「フィナーレの音楽」も編曲し、児童、生徒達が歌いやすくなるように、パーカッションも加え、今までよりも感動的なクライマックスを造り出し、この作品の完成度を高めます。					
演目選択理由	今年も、コロナウイルス及びその変異株によって日本だけでなく世界中で多くの感染者と犠牲者を出しています。その社会的、経済的疲弊は計り知れないもので、世界中により閉塞感が広がり、人々が精神的に落ち込んでいます。こういう時代だからこそ、心を明るくし、「生きる力」を培ってくれる「文化・芸術の力」が今まで以上に必要と思われます。 今やマンガやアニメは世界に誇るべき文化の一つとなっており、世界中の若者達に勇気と感動を与え続けています。若き天才漫画家・手塚治虫は彼と同じ若き漫画家達との葛藤の中に「夢」や「希望」を見出していこうとしました。 子供にとって最も大事な「他人と協調して思いやる心」「感動する心」「豊かな人間性」等の『生きる力』を描いた若き漫画家達の青春群像劇「トキワ荘の夏」を児童、生徒達に観てもらい、参加(舞台での共演、フィナーレの歌による生徒全員のクライマックス造り)してもらう事は、まことにタイムリーな事で、今までの、この事業での公演と同様に多くの児童、生徒達の共感と感動を得られると思います。また、先生方、保護者の方々にもこの舞台を楽しく観て頂きたいと思い、この作品を選定しました。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	別添シート①参照					
出演者	別添シート②参照					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 13 名 スタッフ: 7 名 合 計: 20 名		機材等 運搬方法		積載量: 2 tワイドロング 車 長: 6.5 m 台 数: 1 台	

【公演団体名 劇団俳小 】

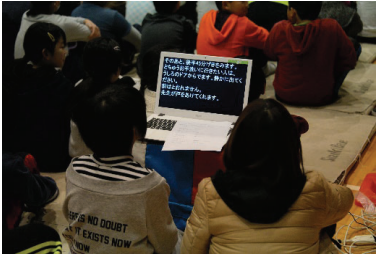
実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		3	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～11時	13時30分～15時10分	10分	15時25分～ 17時	17時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		500名程度(全校生徒可)			
	本公演		500名程度(全校生徒可)※それ以上の人数の場合は応相談			
ワークショップ 実施形態及び内容	別添シート③参照					
ワークショップ 実施形態の意図	別添シート④参照					
特別支援学校での 実施における工夫点	別添シート⑤参照					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名 劇団俳小 】
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態内 容	基本的に生徒全員が参加出来る様な形態をとり、「みんなで物を造る事」の楽しさ、感動を経験して頂こうと思っています。児童、生徒の参加形態は次の2点です。 ①6人程度の児童・生徒さんには「トキワ荘」の近所に住む子供達になって貰います。舞台上で「絵描き歌」を歌いながら、漫画家に扮した俳優達に、漫画の描き方を教えてもらいます。生徒さん達は歌っているうちに、人間や動物の簡単なデッサンが出来るようになります。 こうして生徒達は、セリフだけの交流の時よりも、より登場人物達になりきっていき、生き生きと楽しく演技が出来るようになり、その場面が輝き、演劇的質が向上していきます。 ②生徒全員に「フィナーレの歌」を歌って貰います。歌の中で、子供達に「野球選手になりたい、サッカー選手になりたい、アイドルになりたい、歌手になりたい」等、自分の夢を元気に大きな声で言って貰います。普段口に出さない事を口に出して言って貰う事で、子供達の目がキラキラしてきます。 出演するまでは恥ずかしがり、前に出るのを嫌がっていた子供達も、公演が終わると「また出演してみたい、研究発表会に役立てたい、授業で指された時は大きな声で発表したい」等、明るく、積極的になっていきます。また、演劇が文字や言葉だけではなく、音楽や絵画も入ったコミュニケーションが、より相手に伝わっていくという、この作品のもう一つのテーマである非言語コミュニケーションの魅力を実感していきます。	

リンク先	No.2	【公演団体名 劇団俳小】	
出演者	役名	キャスト	ランク
	木塚修身	大川原直太	A
	内山啓	手塚耕一	A
	寺本文雄	駒形亘昭	A
	秋森恵美	西本さおり	A
	秋森良太郎	佐京翔也	B
	愛甲郁夫	宮崎佑介	B
	佐々木あけみ	小池のぞみ	B
	佐伯順一	同上	
	藤本博文	大久保卓洋	C
	水島洋子	諸角真奈美	C
	大瀧浩一	井上昇	C
	岡達彦	根本浩平	C
	島本賢	北郷良	D
	赤坂不二郎	中村巴弥	E

リンク先	No.3	【公演団体名	劇団俳小	】
ワークショップ 実施形態及び内容	[ワークショップ形態] ①まず、全校生徒を対象として、芸術監督及び俳優数名が講師として、本作品の内容について〈解説〉をし、〈体操〉・〈発声〉・〈歌〉についてのワークショップを行い、本番での生徒全員の参加共演シーン(クライマックス)造りに取り組みます。 ②次に、本番に出演する生徒達(6名前後)に言葉の意味を理解した上でのセリフと動きの練習、つまり演技の練習と漫画のデッサンと「絵描き歌」の歌の練習をします。こうして生徒達は、コミュニケーションは言語だけでなく、「非言語コミュニケーション」もあるのだという事に気付いていく事になります。 [ワークショップ実施内容]   1. 解説……「トキワ荘の夏」のあらすじと生徒達が参加する場面の内容を説明します。 2. 体操……体を柔らかくし、自由に動くようになるためのゲームを入れた肉体訓練、リズム体操をします。 3. 発声……相手の位置やそこまでの距離を意識し、相手の心に届くように自分自身のナイーブな声を、腹式呼吸ではっきりと出します。 4. 歌を歌う…舞台に参加する生徒達には漫画を描きながら歌う「絵描き歌」を、全生徒達には、〈夢〉を〈希望〉をこれからも託していこうと決意するラストのクライマックスでの「フィナーレの歌」の練習をします。 5. 絵を描く…喜怒哀楽を表現する漫画の基礎的なデッサンと漫画の吹き出し(セリフを囲む枠)の練習をします。 6. 演技……本番に参加する生徒達のワークショップは次の二ヶ所です。 ①「トキワ荘」を近所の子供達が見学を訪れ、主人公である木塚修身が漫画の描き方を教えるシーン。 ②藤本博文、愛甲郁夫が近所のラーメン屋「松葉」で子供達に絵の書き方を教えるシーン。 ワークショップ当日は以上のタイムテーブルで進行していきますが、本番当日のリハーサルでは、ワークショップで練習した俳優達との共演場面と最後のクライマックスの歌の場面を実際に造って見ます。(約45分位)			

リンク先	No.3	【公演団体名 劇団俳小 】
ワークショップ 実施形態の意図	ワークショップでは、「演技をする」「歌を歌う」「絵を描く」というリハーサルをする事によって、感受性と表現力及びコミュニケーション能力が養われ、より楽しく舞台を観たり、お芝居をしたり、歌が歌えるようになっていきます。また「トキワ荘の夏」の世界を理解する事によって、漫画に興味を持ち、漫画を読んだり、「トキワ荘の夏」の資料を調べたりして、生徒達の本番への期待感がより高まっていきます。そして、舞台に上がっている生徒だけでなく、客席にいる児童・生徒達も、全ての人々が〈参加者〉であり、〈主体者〉である事を実感できる素晴らしい「本番」になっていきます。つまりワークショップは、本番に向けての大事なリハーサルなのです。と同時に、ワークショップを受けた子供達は自己主張、自己表現が上手くなっていきます。 ●解説の狙い 本作品の内容及び登場人物の気持ちを理解する事によって、(低学年の子供達には特に丁寧に解説していきます！) 楽しく本番を観れるようになり、より優しく演技をしたり、元気に明るく歌えるようになっていきます。 ●演技することの狙い プロの俳優達と一緒に出演する事によって、新しい自分を発見し、また、表現する事で自分達の考えたメッセージが観客に伝わるという事を実感出来るようになります。 ●歌を歌うことの狙い 言葉にメロディがつく事で記憶が強化されます。歌を歌う場面の前のシーンを俳優達が本番通りに演じてみせ、それに触発されて生徒達は歌えるようになっていき、本番では大きな声で明るく元気に「絵描き歌」「フィナーレの歌」を歌えるようになっていきます。そして全校生徒と舞台上の俳優達との合唱で、感動的なフィナーレを造り上げることが出来ます。 ●絵を描くことの狙い 実際に、自分の手を動かして絵を描くことで、伝達意識が高まり、参加意識も高まります。デッサンの基礎に目を向けることができます。自分の作品が、数点完成するので、達成感という喜びもあります。 ●非言語コミュニケーションの重要性に気付く 言語情報だけより、言語+非言語情報の方が、伝達力が高い事を、実際に簡単なマンガを描いてみる事で実感します。つまり、言葉だけでなく、歌を歌う事や、絵を描く等という非言語コミュニケーションを使うことによって、コミュニケーション能力がより発達する事になるのです。	

リンク先	No.3	【公演団体名 劇団俳小】
特別支援学校での 実施における工夫点	先生方との話し合いをより詳細にし、生徒達の状況に応じた、そして、今まで特別支援学級の生徒達にも用いた、ワークショップ、本番での方法も考えていきます。 例えば、 ●聴覚障害のある児童・生徒には…字幕スーパーを用意したり、先生方にパソコンを用意してもらい、字幕を出してもらうようにします。   ●視覚障害のある児童・生徒には…舞台のセリフ、音楽が良く聞こえるように、イヤホン等を用意します。 ●身体不自由な児童・生徒には…車椅子を用意し、車椅子及び付き添いの方のための観客席をもうけます。 この作品は「歌を歌い」「絵を描く」という非言語情報により、言語情報だけより伝達力が高まり、コミュニケーション能力がより発達するように演出されているため、児童、生徒達にも良く理解でき、楽しめる舞台になっています。	

令和3年度
文化芸術による子供育成総合事業
巡回公演事業

トキワ荘の夏

演劇 劇団 俳小 公演



文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演事業

わが国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



開催月日	開催地	実施校
6月16日(水)	奈良県御所市	奈良県立青翔中学校
10月22日(金)	大阪府泉南市	泉南市立鳴滝小学校
10月26日(火)	滋賀県草津市	草津市立草津小学校
10月27日(水)	三重県桑名市	津田学園中学校
10月28日(木)	滋賀県大津市	大津市立葛川小学校
10月29日(金)	三重県桑名市	桑名市立久米小学校
11月1日(月)	大阪府八尾市	八尾市立桂小学校
11月2日(火)	和歌山県紀美野町	紀美野町立野上中学校
11月4日(木)	奈良県吉野町	吉野町立北野北小学校
11月5日(金)	和歌山県海南市	海南市立大野小学校



知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～
1977年にユネスコの提議で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

劇団 俳小 げきだんはいしよ
昭和49(1974)年1月、早野寿郎(故人)・小沢昭一(故人)等が中心となって活動していた劇団俳優小劇場が、現在の「劇団俳小」としてスタートした。ヨーロッパ・アメリカ演劇から、日本の古典・新作、あるいは詩や小説をそのまま舞台にのせたりと、一定の演劇理念にとらわれない幅広い演劇活動を続けながら、舞台芸術の原点を探る演劇創造集団として定評がある。

昭和51(1976)年、『あの人は帰ってこなかった』(早野寿郎演出)で文化庁・芸術祭優秀賞を受賞。平成2(1990)年、藤田傳、作・演出による『檻の中の国境』がNHKのニュースになり、話題に上る。平成7(1995)年、ジェームス三木、作・演出『上杉鷹山』を地方行政(山形県米沢市)との共同制作を行うことで注目を浴びる。平成16(2004)年、ロジア・マーリュイ劇場の主任演出家ウラジミール・ペイリス氏を招聘して、『悲喜劇——自殺者』(原作・エルドマン)を上演し、大成功を収める。また、『橋からの眺め』、『五稜郭』、『どぞ回りのハムレット』、『金閣炎上』などで、池袋演劇祭の数々の賞を受賞する。

創立以来、全国の小中学校、高校を対象とした学校公演を実施し、文化芸術による子供育成総合事業(旧・文化芸術による子供の育成事業等)は平成11年以降、ほぼ毎年参加している。

げきだんはいししょうこうえん
劇団 俳小 公演

えんげき
演劇

トキワ荘の夏

おとこじんぶつ
<登場人物>

あきもり 秋森 良太郎……………さきょう 翔也

モデル・石ノ森章太郎……………しんじん 新進気鋭の漫画家としてトキワ荘に引っ越してくる。

あきみ 秋美……………にしもと 西本 さおり

秋森良太郎の姉。病弱な身体を粉にして、トキワ荘の漫画家たちのために献身的に働く。

きづか 木塚 修身……………おおかわら 大川原 直太

モデル・手塚治虫。漫画家たちの憧れの存在。スランプでなかなか漫画が描けない。

あかざ 赤坂 不二朗……………なかむら 中村 巴弥

モデル・赤塚不二夫。秋森良太郎の幼馴染で、彼の一番の理解者。

でんもと 寺本 文緒……………こまめな 駒形 亘昭

モデル・寺田ヒロオ。黙々とかつての手法で漫画を描き続けている。

みづの 水島 洋子……………もろずみ 諸角 真奈美

モデル・水野栄子。秋森良太郎の漫画を酷評する。

ふじもと 藤本 博文……………おおくぼ 大久保 卓洋

モデル・藤子・F・不二雄。愛甲郁夫とコンビを組んで漫画を描いている。

あいき 愛甲 郁夫……………みやま 宮崎 佑介

モデル・藤子不二雄④。藤本博文とコンビを組んで漫画を描いている。

おか 岡 達彦……………ねもと 根本 浩平

若手の漫画家。自分の描いた漫画がなかなか認められず、漫画家の道を諦める。

うちやま 内山 啓……………てづか 手塚 耕一

モデル・「漫画少年」編集長、加藤謙一。木塚修身を見出したことに誇りを持っている。

しまもと 島本 賢……………ほん 北 郷 良

内山啓が経営する漫画雑誌の編集者。木塚修身よりも若手漫画家たちを応援している。

おのの 大瀧浩一……………いの 井上 昇

トキワ荘に住んでいる小説家。漫画を低俗なものだと見下している。

ささき 佐々木 あけみ……………こいけ 小池 のぞみ

トキワ荘の近所にあるラーメン店で働いている。女優を目指して上京してきた。

ながい 永井 たけし……………こいけ 小池 のぞみ

秋森良太郎に憧れてトキワ荘にやって来た若手漫画家。

マンガの聖地「トキワ荘」を舞台に、
若き日の漫画家たちは『夢』と『希望』を描き続けていた!!

あらすじ



昭和30年、東京都豊島区椎名町にある

おんぼろアパート「トキワ荘」。そこに集まった漫画家たちの織りなす輝かしくもほろ苦い青春の1ページ。

「トキワ荘」には、寺本文緒（モデル・寺田ヒロオ）、藤本博文（モデル・藤子・F・不二雄）、愛甲郁夫（モデル・藤子不二雄④）、そして、木塚修身（モデル・手塚治虫）

といった漫画界のそうそうたる面々が住み、日夜、漫画を描き続けていた。そこへ、赤坂不二朗（モデル・赤塚不二夫）と一緒に、新進気鋭の漫画家・秋森良太郎（モデル・石ノ森章太郎）が引っ越してくる。

秋森が始めた新連載の少年漫画は、予想以上の大ヒット。一方、木塚はスランプ気味。ついには、漫画雑誌の発売日を遅らせる事態にまで陥ってしまう。

漫画雑誌の廃刊に落胆するトキワ荘の住人たち。自暴自棄になり創作意欲も消え失せてしまうのだが……。

夢や希望を抱きながらも、ときには焦り、苦しみながら作品づくりで没頭した若き日の漫画家たち。トキワ荘で過ごした彼らの成長を瑞々しく描く。

<スタッフ>

作・演出……………たけうち 竹内 一郎

舞台美術……………うちやま 内山 勉

照明プラン……………たけい 竹井 崇

音響プラン……………いげ 射場 重明

音楽／歌唱指導……………あんどう 安藤 真利子

衣装デザイン……………いからし 五十嵐 博子

演出助手……………おおかわら 大川原 直太

演出補……………おおかわら 大川原 直太

舞台監督……………てづか 手塚 耕一



【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A5	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	劇団俳小				制作団体名	株式会社 劇団俳小			

① 会場条件等についての確認

項目		必要条件等						応相談	
控室について		必要数 *	1室	条件					可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			小型バス	1台	2tトラック	1台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			小型トラック2台に積み替える					
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			幅2.5m。高さ3.5m。長さ7m					
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				可	
	搬入経路の最低条件							可	
	理由								
	設置階の制限 *			問わない、					
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1m	高さ	1.8m	可		
WSIについて	参加可能人数		500名程度					可	
	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *				可	
	所要時間の目安 単位:分		全校生徒45分 出演生徒45分 本公演当日45分					可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			500名程度					可
	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	9m	奥行	3.9m	高さ	3m	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *							—
		緞帳 *	不要		バトン *	不要			—
	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	演出効果を高めるため			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *			要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			可
		ピアノの事前調律 *			不要				—
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可
	公演に必要な電源容量			75A	※主幹電源の必要容量				可
	その他特記事項								応相談

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

